

ほっとサロン虹

通信

2024.11.15

ほっとサロン虹は、がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど
気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。

テーマ：緩和ケア病棟見学ツアー

講師：緩和ケアセンター医長 白木 照夫

「緩和ケア病棟見学ツアー」では、はじめに緩和ケアセンター医長の白木照夫医師より当院の緩和ケア病棟の特色について説明があり、その後、実際に緩和ケア病棟の見学をしていただきました。

記：医師事務作業補助者
河本 百合子

当院の緩和ケアセンターの理念は“私たちは、がんと共に生きる人がその人らしく生活できるように支援いたします”です。

当院の緩和ケアセンターはすべて個室となっており、入院される患者様がその人らしく生活できるよう、生活習慣の自由さを保持できるようになっています。また、月1回程度フルートの演奏会なども行われ、患者様の楽しみになっているようです。

緩和ケア病棟では痛みやだるさなどの身体的な苦痛をとることだけでなく、心理的な問題やお家の心配なども多職種で支援しています。緩和ケアセンター入院後、在宅で療養することをご希望の場合は、当院では往診を行っていないため、訪問診療可能な医療機関や訪問看護ステーションなどへご紹介しているとのことでした。また、緩和ケアセンターの退棟の時期については、目安の入院期間が過ぎ長期入院となっている場合でも病状悪化時は無理に転院させたりしないなど、それぞれの病状により臨機応変に対応していることがお話されました。



病棟見学では、まずは個室の11,600円の特別室、3,500円の有料個室、無料の個室を順にみていただきました。「この広さで十分よね。」とか、「大勢の親戚が訪ねてきたときなど期間限定で特別室を利用できますか。」など質問され、皆さん入院したときのことを想像されながら熱心に見学されていました。

有料の部屋のみWi-Fiが使えることを説明すると「Wi-Fiは必須。」などの声が聞かれました。熱帯魚の水槽があり自動演奏ピアノの曲が流れているデイコーナーでは癒しの空間を感じていただけたようです。家族室や浴室のミストシャワーバス、家族キッチンも見学いただき、見学ツアーは好評で終了しました。

次回12月は、「がんと運動」をテーマに開催いたしますのでご興味のあるかたは是非ご参加ください。



特別室



デイコーナー

